

昭島市総合防災訓練

2022年11月6日(日)に昭和中学校で昭島市総合防災訓練が行われました。参加人数が制限されていた為、一部の方のみの参加となりましたのでこの紙面で内容を紹介します。

【初期消火訓練】 消火器の使い方を再確認

【小規模発災型対応訓練】

【応急給水訓練】

背中に背負うことができる水用袋の使い方を学びました。

【地震体験訓練】

震度7まで体験できましたが、震度6強でも固定しているものにつかまらなと転げてしまいます。

機会があればぜひ体験しておきたい訓練です。



【通報訓練】

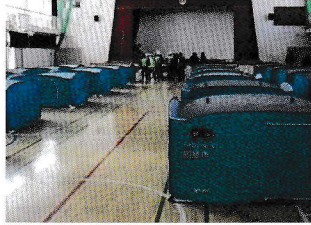
119番へ通報して、消防署員からの問いかけに対応します。けっこう緊張します。

【応急救護訓練】

心臓マッサージを体験

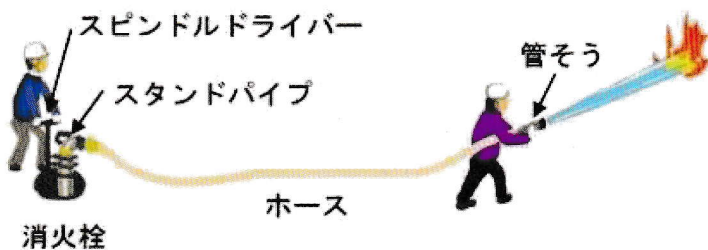
【避難所体験】

右の写真の囲いの中に1世帯（目安としては、大人2名、子供2名）が入ります。



スタンドパイプとは、消火栓に接続してそれにホースと管そうを接続し、放水によって消化する為の装置です。昭島市では市内各地の自治会に貸与しています。それは、大地震が起きて火災が多発したり、道路が寸断されていたりで、**火災の発生現場に消防車がすぐには行けないときに、市民が協力して消火できる手段を確保する為**です。

スタンドパイプによる初期消火 イメージ



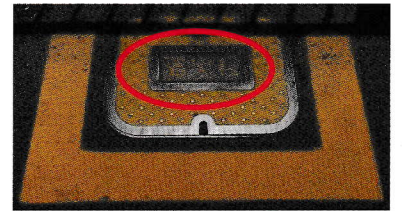
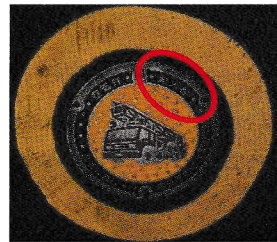
しかしその為には市民がスタンドパイプの操作を知っていなければなりません。一部の役員が知っている、いざという時にその役員の方が不在の可能性もあります。なので、できるだけ多くの住民の皆さんが操作できるようになって下さい。

**自分の自治会で訓練の案内があったらぜひ参加していただくようお願いします。**

マンホールのフタの違いを知ろう

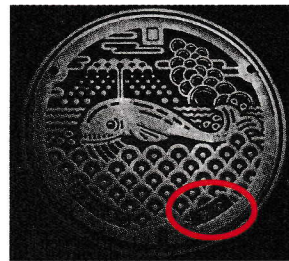
ところで、スタンドパイプの訓練参加者の意見を聞いてみると、「消火栓に接続と言われても、どの消火栓に接続したらよいかわかりません」との声がよく聞かれます。**答えは「どの消火栓に接続してもOK」**です。

しかし実際に道路にあるマンホールは様々あります。その中の消火栓のマンホールを見つけて頂ければOKです。消火栓のマンホールがどこにあるかは、防災知っ手帖の第1号と第3号に記載されていますので確認して下さい。ここではマンホールの違いを覚えて下さい。



上の二つは形状は異なりますが消火栓のフタです。周囲を黄色で囲ってあり、フタに消火栓と書かれています。

下の二つは雨水管と汚水管のフタです。フタにそれぞれ「あめ」や「雨」、「おすい」や「汚」と書かれています。こちらは消火作業には使えません。



アンダーパスでの増水に注意

アンダーパスとは、鉄道などの下をくぐって通る道のことです。車と歩行者が通るものや、歩行者だけが通るもの（地下道）があります。

急な大雨があるとアンダーパスでの事故が報道されることがあります。主に自動車の事故ですが歩行者による事故もありますので、自動車、歩行者ともに危険性を認識していただきたく思います。

普段車で通過しているアンダーパスの歩道部分をたまには歩いてみたり、地下道を増水したときの視点で歩いたりしてみてもいいかもしれません。